

Ⅱ 結果の詳細

1 教科に関する調査

(1) 小学校国語

① 全体的な結果

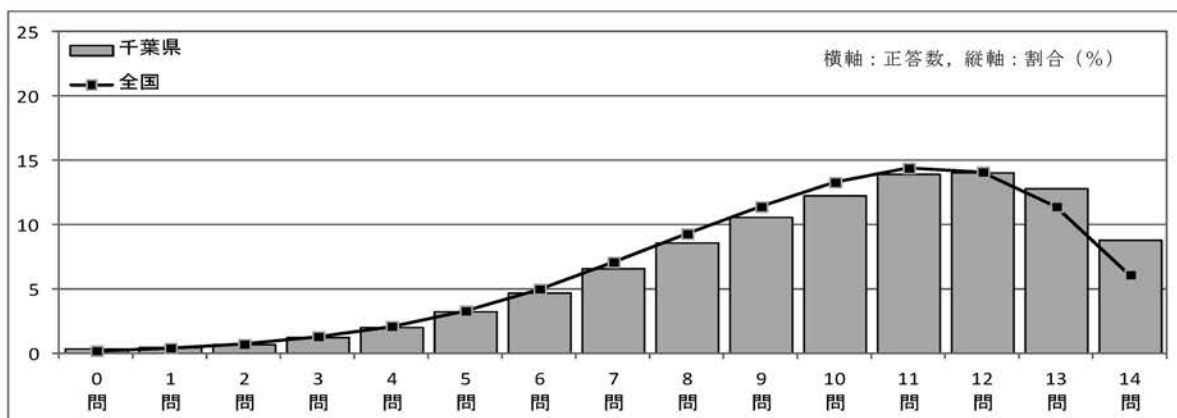
ア 正答数の分布

* 「A～D層」について

- ・各層は全国の児童を正答数の大きい順に整理し、人数比率により25%刻みで4つの層分けを行っています。上位から1番目をA層、2番目をB層、3番目をC層、4番目をD層と呼称します。正答数が同じ場合は、上位の層に含むため、25%を大きく超える場合があります。
- ・千葉県的人数比率は、全国のA～D層を基準に示してあります。

【国語A】

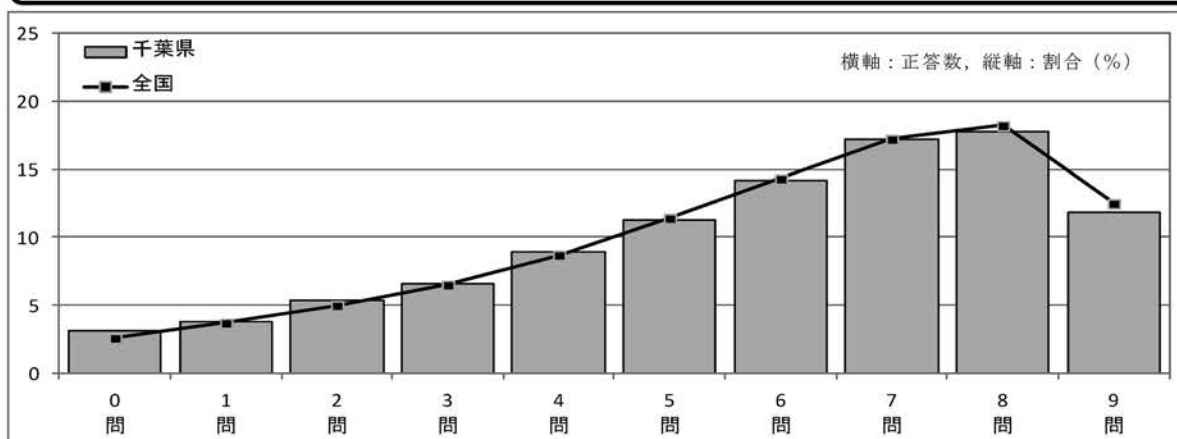
平均正答数が0.2問、平均正答率が1.5ポイント全国より高い。正答数の分布は、全国と比べ全体的にやや右寄り、特にA層の割合が高い。



	平均 正答数	平均 正答率	中央値	標準 偏差	* 「A～D層」について			
					* D層 0～7問	* C層 8～9問	* B層 10～11問	* A層 12～14問
全 国 (公立)	9.8問 ／14問	70.0 %	10.0	2.8	20.1 %	20.7 %	27.7 %	31.6 %
千葉県 (公立)	10.0問 ／14問	71.5 %	10.0	2.9	19.1 %	19.2 %	26.2 %	35.6 %

【国語B】

平均正答数が0.1問、平均正答率が0.9ポイント全国より低い。正答数の分布は、A層の割合が低く、D層の割合が高くなっている。



	平均 正答数	平均 正答率	中央値	標準 偏差	* 「A～D層」について			
					* D層 0～3問	* C層 4～5問	* B層 6～7問	* A層 8～9問
全 国 (公立)	5.9問 ／9問	65.4 %	6.0	2.4	17.8 %	20.1 %	31.5 %	30.7 %
千葉県 (公立)	5.8問 ／9問	64.5 %	6.0	2.4	18.8 %	20.2 %	31.4 %	29.5 %

イ 調査区分ごとに見た傾向（全国平均（公立）を100とする）

知識／活用

「知識」は、昨年度に引き続き全国平均を上回った。「活用」は低下傾向にあり、はじめて全国平均に達しなかった。

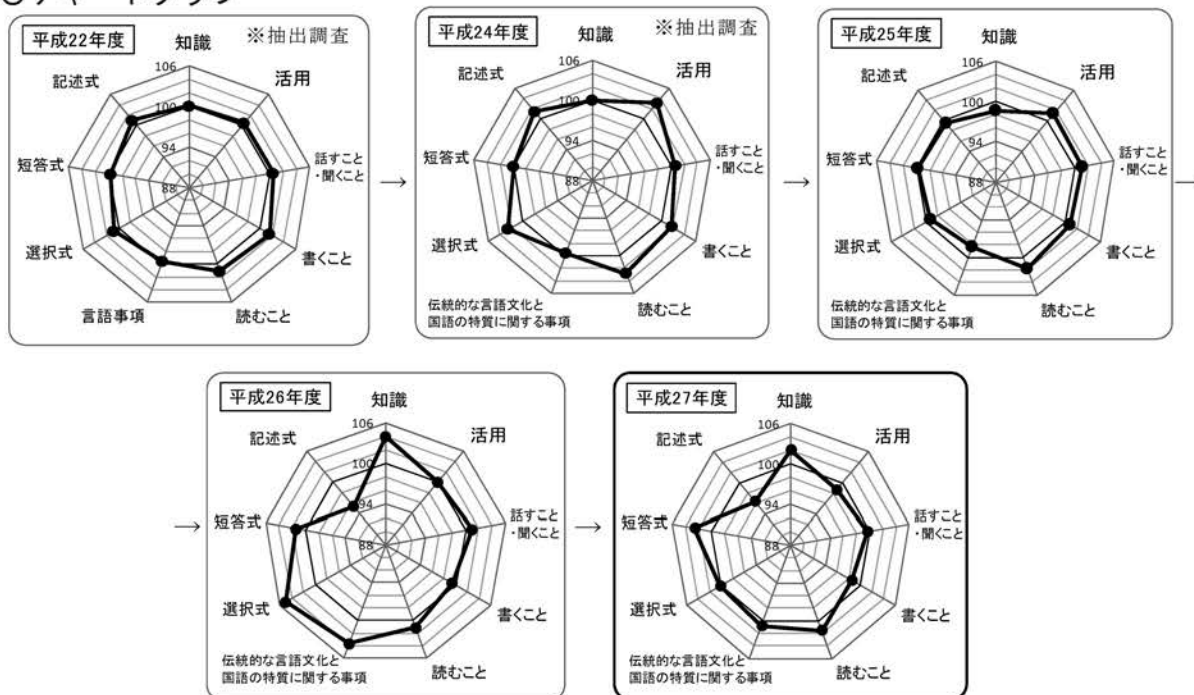
領域等

「話すこと・聞くこと」「書くこと」が低下傾向にあり、今年度はどちらも全国平均に達しなかった。

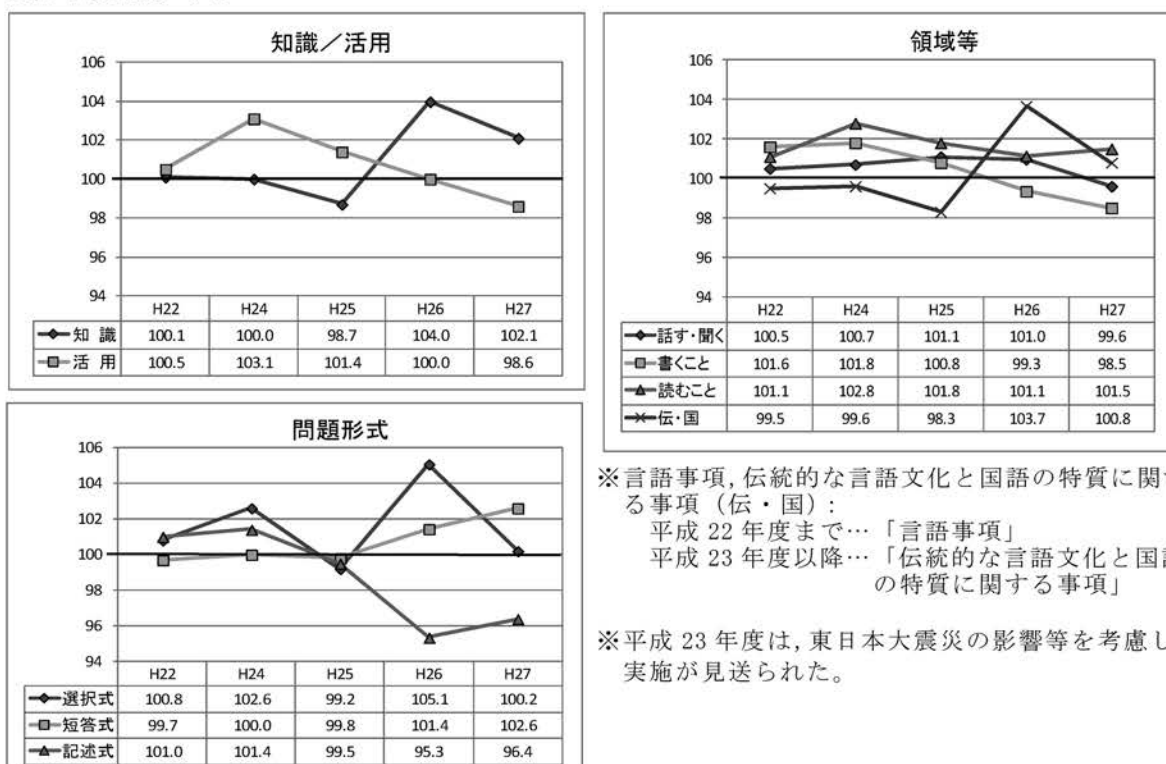
問題形式

昨年度課題として挙げられた「記述式」は、大幅な改善が見られず、今年度も全国平均を下回った。

○チャートグラフ



○経年変化グラフ



② 各設問及び質問紙調査に見られる結果と特徴

(凡例)

- 「出題の趣旨」
「課題改善」 過去の調査結果からの課題を踏まえた問題
「同一」 過去の調査結果と同一の問題
「領域等」 学習指導要領の領域等
「話」 話すこと・聞くこと 「書」 書くこと 「読」 読むこと
「伝」 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
「評価の観点」
「関」 国語への関心・意欲・態度 「話」 話す・聞く能力
「書」 書く能力 「読」 読む能力
「言」 言語についての知識・理解・技能
「問題形式」
「選」 選択式 「短」 短答式 「記」 記述式
「肯定的回答」
「当てはまる，どちらかといえば当てはまる」など肯定的な選択肢を選択した割合の合計
「昨年との差」
千葉県今年度（平成27年度）と昨年度（平成26年度）との差を示す

□ 全国を上回るもの
■ 全国を下回るもの
△：全国との差3.0ポイント以上
▼：全国との差3.0ポイント以下

ア 各設問の結果

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域等	評価の観点	問題形式	正答率(%)			無解答率(%)				
							千葉県(公立)	全国との差		千葉県(公立)	全国との差			
A	1-1	漢字を読む (友人を家に招く)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む		伝	言	短	97.8	0.3		0.7	0.0		
	1-2	漢字を読む (自分の信念をつらぬく)						95.1	-0.9		1.1	0.2		
	1-3	漢字を読む (全員がすぐに承知した)						同一	93.2	0.7		2.4	-0.1	
								(H20)	88.5	-0.6		4.4	0.0	
	1-2-1	漢字を書く (シャワーを <u>あ</u> びる)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く		伝	言	短	56.2	-2.2		20.8	3.6	▼	
	1-2-2	漢字を書く (鳥の <u>す</u> を観察する)						81.8	5.3	△	5.1	-0.6		
	1-2-3	漢字を書く (<u>び</u> ょういんに行く)						同一	76.0	1.1		6.0	1.3	
								(H21)	76.5	0.4		6.0	0.1	
	2-1	文の主語として適切なものを選択する	文の中における主語を捉える	課題改善	伝	言	選	51.7	-1.4		0.6	0.0		
								(H25)	35.1	-1.4		19.4	-0.8	
	2-2	文の型として適切なものを選択する	文を構成する主語と述語との照応関係を捉える		伝	言	選	73.3	1.6		0.6	0.1		
	3	聞き方の説明として適切なものを選択する	話の内容に対する聞き方を工夫する		話	話	選	52.8	-0.2		0.6	0.1		
	4	説明の文章の書き方の工夫として適切なものを選択する	具体的な事例を挙げて説明する文章を書く		書	書	選	86.6	0.6		0.4	0.1		

問題	設問番号	設問の概要	出題の趣旨		領域等	評価の観点	問題形式	正答率(%)			無解答率(%)		
								千葉県(公立)	全国との差		千葉県(公立)	全国との差	
A	5一	コラムの中で筆者の読書体験が書いてあるままとまりを選択する	新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉える		読	読	選	59.7	0.2		1.6	0.0	
	5二	コラムの中で筆者が引用している言葉を書き抜く		課題改善	読	読	短	33.0	13.2	△	7.5	-0.2	
			(H26)				27.3	-1.0		4.6	0.4		
	6	登場人物の関係についての説明として適切なものを選択する	登場人物の相互関係を捉える	課題改善	読	読	選	68.5	1.0		2.5	-0.1	
				(H26)				66.3	1.0		0.5	0.0	
7	応募のきまりを守っていないものを選択する	作品募集の案内の中から、必要な情報を読み取る		読・伝	読・言	選	74.8	0.9		4.2	-0.1		
B	1一	新聞の割り付けとして適切なものを選択する	目的や意図に応じ、新聞の割り付けをする		書	書	選	73.7	-0.9		0.7	0.2	
	1二	見出しの表現の工夫についての説明として適切なものを選択する	目的や意図に応じ、記事に見出しを付ける		書	書	選	71.8	1.0		0.8	0.2	
	1三	【中田とよさんへのインタビューの様子】の内容をまとめて書く	目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書く	課題改善	書	関・書	記	32.4	-2.3		4.6	0.6	
				(H25)				25.7	-0.5		13.3	0.0	
	2一ア	【ア】に入る言葉の意味として適切な内容を書き抜く	目的に応じ、中心となる語や文を捉える		読	読	短	75.8	0.3		4.1	0.5	
	2一イ	【イ】に入る言葉として適切な内容を書き抜く			読	読	短	86.0	0.0		6.2	0.6	
	2二	【文章】の要旨をまとめて書く	目的に応じ、文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉える		読・書	関・読・書	記	76.9	-1.5		7.5	0.5	
	2三	楽器の分担の決め方について、【楽器の分担図】を基にして書く	文章と図とを関係付けて、自分の考えを書く		読・書	関・読・書	記	42.0	0.4		9.8	1.1	
	3一	〈絵3〉の場面が始まるままとまりとして適切なものを選択する	登場人物の行動を基にして、場面の移り変わりを捉える		読	読	選	59.2	-1.2		11.3	1.6	
3二	声に出して読むときの工夫とその理由を書く	登場人物の気持ちの変化を想像しながら音読する		読・書	関・読・書	記	62.4	-4.2	▼	17.7	2.6		

イ 質問紙調査の結果

質問 番号	国語に関する質問事項	肯定的回答		
		千葉県	全国との差	昨年との差
44	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	39.1	-0.7	3.2
45	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	44.0	-0.7	2.0
46	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	66.0	-0.9	0.5
48	国語の勉強は好きですか	65.1	4.0	0.9
49	国語の勉強は大切だと思いますか	91.3	-0.7	0.0
50	国語の授業の内容はよく分かりますか	82.3	0.3	1.8
51	読書は好きですか	72.5	-0.3	-0.9
52	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	87.9	-0.7	1.0
53	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	65.2	0.0	2.9
54	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	60.8	-0.4	2.3
55	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	71.4	-1.3	1.3
56	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	75.7	-1.5	1.5
57	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか 1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した【肯定的回答】 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあった 3 書く問題は全く解答しなかった	76.2	-1.5	1.1
83	調査問題の解答時間は十分でしたか（国語A）	84.1	0.8	-3.1
84	調査問題の解答時間は十分でしたか（国語B）	66.5	-1.1	17.1

○B問題で出題された「記述式」では、正答率は4問中3問が全国より低く、無解答率は4問全てが全国より高いという結果であった。質問紙の書くことの活動に対する肯定的な回答は、全て全国より低く（44、45、55）、「記述」「書くこと」が昨年度から継続した課題である。

○B問題は、調査開始以来はじめて正答率が全国平均に届かなかった。全ての設問で無解答率が全国より高く、「記述式」の課題に加えて、無解答率の高さが課題に挙げられる。特に、B問題の最後の二問（B3一、B3二）は、ともに正答率が低く、無解答率の高さが際立つ。質問紙では、文章を書く問題で最後まで解答を書こうと努力した割合（57）、解答時間が十分であったと回答した割合が（84）が、ともに全国より低いという結果であった。一定の時間内に、ある程度の量の文章に対応できる力や、書くことに対して抵抗感をもちず記述問題に取り組もうとする態度を身に付けていく必要がある。

③ 成果と課題

全体的な状況	成果	◇ 昨年度に引き続き、知識（Ａ問題）が全国平均を上回った。「読むこと」の領域で全国平均をやや上回る結果が継続している。今年度は特に、表現の工夫を捉えることが全国平均を大きく上回った。 ◇ 「国語の勉強が好き」な児童の割合が全国より高い状況が継続している。
	課題	◆ 「記述式」の正答率が、昨年度と同様に全国平均を下回った。特に、文章の構成や記述方法など複数の条件に応じて書くことに課題がある。 ◆ 今年度は、無解答率が全国より高い設問が多く、新たな課題に挙げられる。特に、正答率が全国平均に届かなかった活用（Ｂ問題）は、すべての設問の無解答率が全国より高いという結果であった。

話すこと 聞くこと	◆ 話の内容に対する聞き方を工夫することが、全国より低い【Ａ３】。
書くこと	◇ 文章の種類に応じた書き方や表現の工夫を捉えることが、全国より高い。 ・説明の文章の書き方の工夫を捉えること【Ａ４】 ・新聞記事の見出しの工夫を捉えること【Ｂ１二】 ◆ 複数の条件に応じながら、内容を整理して書くことが、全国より低い【Ｂ１三】。 ◆ 文章の内容を的確に押さえながら目的に応じた要旨にまとめることが、全国より低い【Ｂ２二】。 ◆ 理由や根拠を明確にして、自分の考えをまとめて書くことが、全国より低い【Ｂ３二】。
読むこと	◇ 文章の種類に応じた表現の特徴を捉えたり、必要な情報を読み取ったりすることが、全国より高い。 ・新聞のコラムの表現の仕方【Ａ５二】 ・応募のきまりから必要な情報を読み取る【Ａ７】 ◆ 登場人物の心情と場面の移り変わりを関連づけて読み取ることが、全国より低い【Ｂ３一】。
伝統的な言語 文化と国語の 特質に関する 事項	◇ 過去の調査と同一の漢字の設問に改善が見られた。 ・「承知」（88.5%→93.2%）【Ａ１－３】 ◆ 文中の主語と述語の照応関係を捉えることは全国より高いが【Ａ２二】、文の中における主語を捉えることが、全国より低い【Ａ２一】。
その他	◆ 複数の条件に応じながら書く力を身に付けていく必要がある。 ・「記述式」問題は４問中３問が全国平均を下回った【Ｂ１三、Ｂ２二、Ｂ３二】。その要因の一つとして、提示された条件のうち、一つには応じられているが全ての条件を満たして書くことができていないことが解答類型ごとの反応率から読み取れる。授業では、自由度の高い記述のみではなく、条件を複数与え、それらの全てに応じながら記述する活動を積極的に取り入れるなどの工夫が必要である。

④ 授業づくりシート 千葉県版【小学校国語】

本シートは、本県の【小学校国語】に見られる課題の改善を図る授業づくりのための資料として提示しています。各学校においては、これを参考にして、実態に合わせて「授業づくりシート 学校版」（１０８ページ）を作成し、指導改善を進めてください。

ア 教科名	小学校国語		
イ 課題の見られた問題・解答の状況	B 1 三 正 答 率 千葉県 32.4% 全国 34.7% 無解答率 千葉県 4.6% 全国 4.0%		
ウ 出題の趣旨	目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書くことができるかどうかをみる。		
エ 学習指導要領における領域・内容	〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。		
オ 解答類型と反応率	（正答の条件） 次の条件を満たして解答している。 ① 以下の内容を合わせて書いている。 a 「（一年生のみんなに）様々な形を教えてあげたら喜んでくれた」 b 目を細めながら明るい声 ② 一文で書いている。 ③ 書き出しの言葉に続けて、40字以上、70字以内で書いている。		
	解答類型		反応率%
	1	条件①a, bの両方と、条件②, ③を満たしているもの	32.4
	2	条件①a, bの両方と、条件②は満たしているが、条件③は満たしていないもの	0.0
	3	条件①a, bの両方は満たしているが、条件②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。	2.8
	4	条件①aまたはbのいずれか一方を満たしているもの *条件②, ③を満たしているかどうかは不問とする。	52.1
	9	上記以外の解答	8.2
カ 考察	0	無解答	4.6
	・「 」を使って引用しながら記述することに慣れておらず、引用することで自分の考えを根拠付けることができる、という効果があることが理解できていないことが考えられる。 ・解答類型4は、一つの条件に応じて記述することはできるが、条件が複数になるとそれら全てに応じて記述することができていないと考えられる。また、複数の情報を的確に関連付けて考え、決められた文字数の中でまとめて書き上げることに慣れていないことが考えられる。 ・解答類型3は、一文、二文といった文の定義が理解できていないことが考えられる。		
キ 授業づくりのポイント	・目的や意図に応じて、複数の情報（内容）を関係付けて書く学習の機会を多く設定する。その際、取り上げることがらに関する条件、表記面での条件（使用する言葉、文字数、文末表現等）、文章様式の条件など、複数の条件を提示し、それらに応じながら記述することに慣れさせていく。 ・引用について取り上げて学習する。かぎ（「 」）で括る引用の仕方を具体的に指導する。その際、引用することによってどのような効果が期待できるのかを考えさせていく。		
ク 関連する問題	平成21年度 B 1 二 平成25年度 B 2 二 平成25年度 B 2 三		

国語

TYPE II
B①

「交流会について取材して、学校新聞を書こう」

取材した内容を整理して、新聞記事を書くことができる

目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書くことに課題が見られました。そこで、本アイデアでは、この課題を解決するために、編集する目的や意図を明確にして、取材した内容を整理して記事を書くことについての指導事例を紹介します。なお、本アイデアは、第5学年以上を対象としています。

課題の見られた問題の概要と結果

B① 目的や意図に応じて新聞を書く〈学校新聞〉

B①三 正答率 34.9% 【中田とよさんへのインタビューの様子】の内容をまとめて書く

学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 B ウ

授業アイデア例

学習過程

学習活動1 新聞で一番伝えたいことは何かを話し合い、学習課題を設定する

昨年の交流会は、楽しかったな。楽しい交流会の様子を伝えたいな。

今年も大勢の方と交流するそうよ。下級生に紹介したいわ。

みんなの意見をまとめると、今月号の学校新聞で一番伝えたいことは交流する楽しさだね。

学習課題 交流する楽しさがみんなに伝わる新聞を作ろう

学習活動2 学習課題に基づき、紙面の割り付けを行うとともに、見出しを決め、記事を書く

トップ記事の見出し：交流で広がる 心の輪

下書きの文章

おじいさん、おばあさんから遊び方や上手にできるコツを教えていただきました。そのほかにもお話をしたり、遊んだりして、交流を深めることができました。

詳しく書き加えたい内容がないが、前に取材したことを振り返ろう。

もう一度、参加者にインタビューしたり、疑問に思ったことを図書館で調べたりするなど、再取材してみてもいいな。

トップ記事だから詳しく書く必要があるな。書く分量を増やそう。

書き直した後の文章

おじいさん、おばあさんから遊び方や上手にできるコツを教えていただきました。参加したおばあさんは、「すぐにコツをつかんでくれてよかったわ。」と、明るい声で話していました。また、おじいさんと仲良くなった一年生は、「来年も来てほしいな。」と、ここに書いていました。うまくできて、ハイタッチする人もいて、みんな楽しく交流を深めていました。

詳しく書くポイント

書く材料

①インタビューの話の内容などを見直す

インタビューの際、記録したメモを基にして、話し手の言葉や様子を書き加えることで、話し手の気持ちや思いをよりの確に伝えることができます。

「すぐにコツをつかんでくれてよかったわ。」
明るい声で話していた様子が印象的

②写真資料等で活動の様子などを確かめる

活動の様子を書き加えることで、読み手により分かりやすく伝えることができます。

うまくできて、ハイタッチしている人がいた。

③参加者の意見や感想を聞く

参加者の意見や感想を書き加えると、読み手に説得力をもって伝えることができます。

「おじいちゃんとすぐに仲良くなれて、うれしかったな。来年も来てほしいな。」

学習活動3 完成した記事を読み合って、交流する楽しさが伝わるかどうかを相互評価する

本授業アイデア例 活用のポイント！

- 取材した内容を新聞記事として書く際は、目的や意図に応じ、伝えたい内容を詳しく書いたり、それ以外の内容を簡単に書いたりすることが大切です。読み手に伝えたいことの中心を明確にした上で、自分で調べた内容や、関係者に取材した事柄の中から取捨選択し、伝えたいことが読み手に伝わるように、整理して記事を書く指導が考えられます。

参照▶「平成27年度 報告書 小学校 国語」P.48～P.55、「平成27年度 解説資料 小学校 国語」P.36～P.43

(国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成27年度 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例」より)

(2) 中学校国語

① 全体的な結果

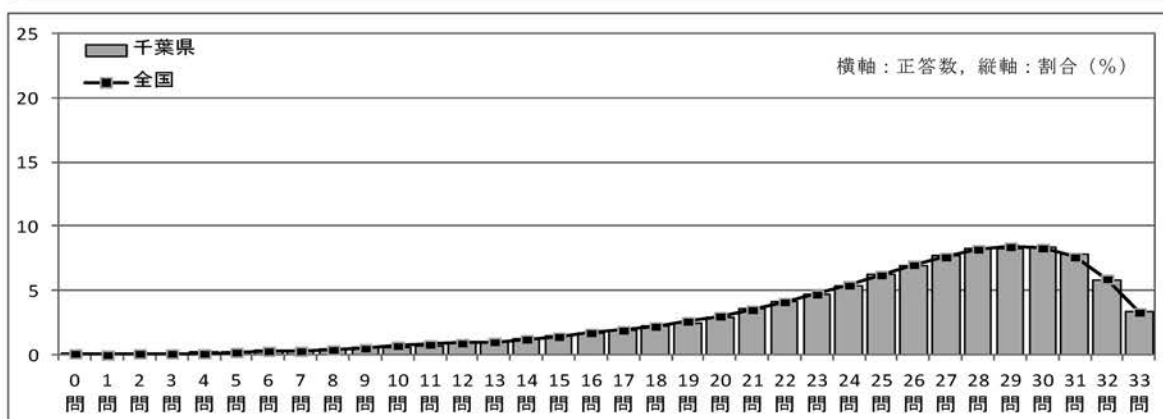
ア 正答数の分布

*「A～D層」について

- ・各層は全国の生徒を正答数の大きい順に整列し、人数比率により25%刻みで4つの層分けを行っています。上位から1番目をA層、2番目をB層、3番目をC層、4番目をD層と呼称します。正答数が同じ場合は、上位の層に含むため、25%を大きく超える場合があります。
- ・千葉県的人数比率は、全国のA～D層を基準に示してあります。

【国語A】

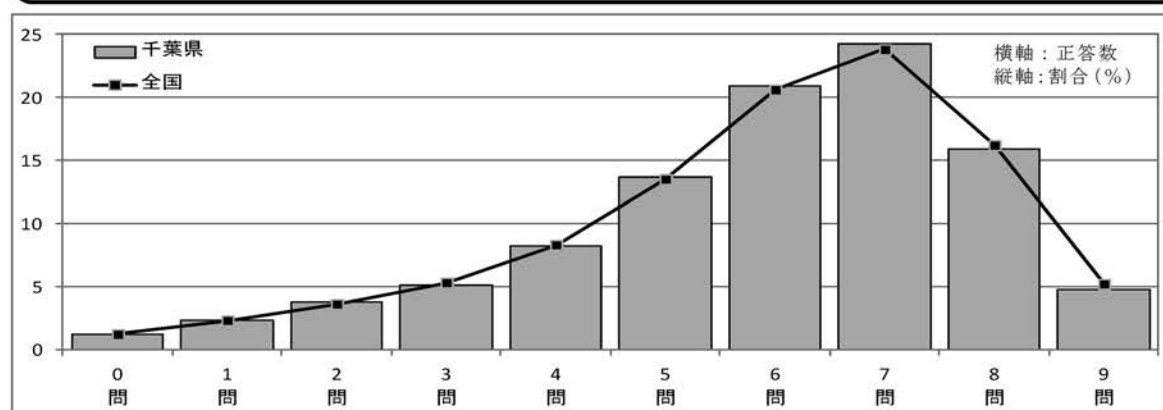
平均正答数が0.1問、平均正答率が0.2ポイント全国より高い。正答数の分布は、全国とほぼ同じであるが、A層の割合がやや高い。



	平均 正答数	平均 正答率	中央値	標準 偏差		* D層 0～21問	* C層 22～25問	* B層 26～29問	* A層 30～33問
全 国 (公立)	25.0問 ／33問	75.8%	26.0	6.0	全 国 (公立)	23.0%	20.4%	31.2%	25.1%
千葉県 (公立)	25.1問 ／33問	76.0%	26.0	5.9	千葉県 (公立)	23.0%	20.5%	31.2%	25.4%

【国語B】

平均正答率が0.1ポイント全国より低い。正答数の分布では、全国と比べA層の割合がやや低く、B層とC層の割合がやや高い。



	平均 正答数	平均 正答率	中央値	標準 偏差		* D層 0～4問	* C層 5問	* B層 6問	* A層 7～9問
全 国 (公立)	5.9問 ／9問	65.8%	6.0	2.0	全 国 (公立)	20.7%	13.5%	20.6%	45.2%
千葉県 (公立)	5.9問 ／9問	65.7%	6.0	2.0	千葉県 (公立)	20.6%	13.7%	20.9%	44.9%

イ 調査区分ごとに見た傾向（全国平均（公立）を100とする）

知識／活用

「知識」は、昨年度に引き続き全国と同程度であった。上昇傾向であった「活用」は低下した。

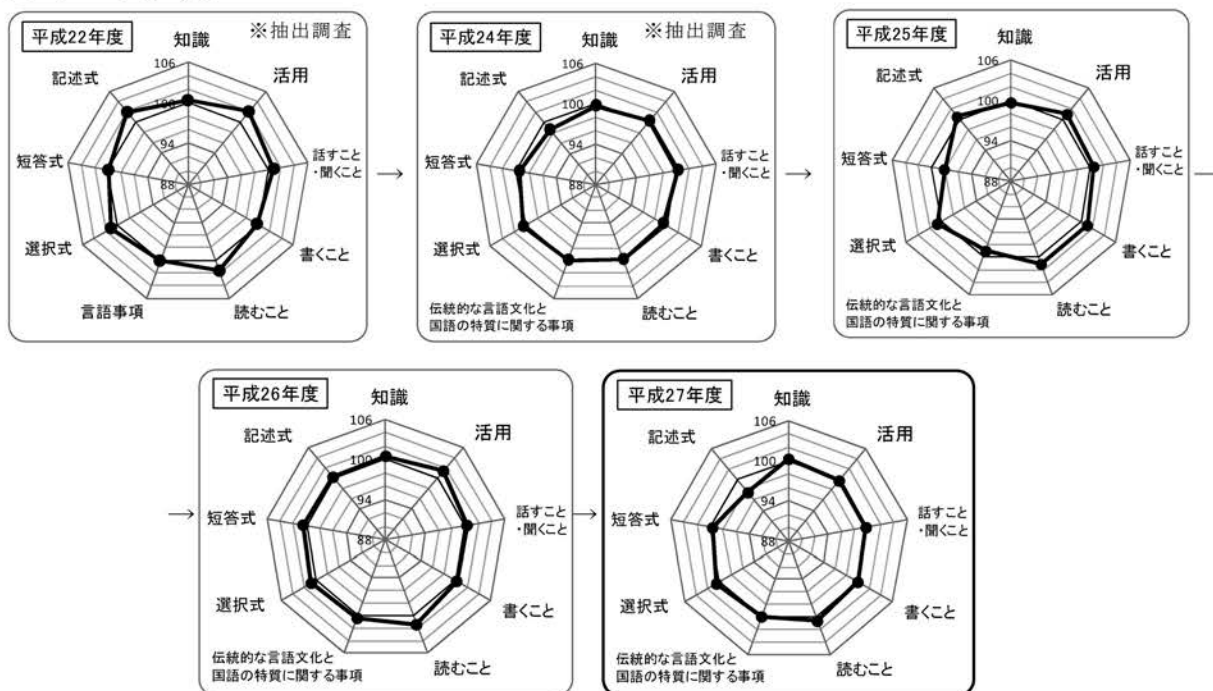
領域等

全ての領域等で全国と同程度であるが、昨年度との比較では低下した。

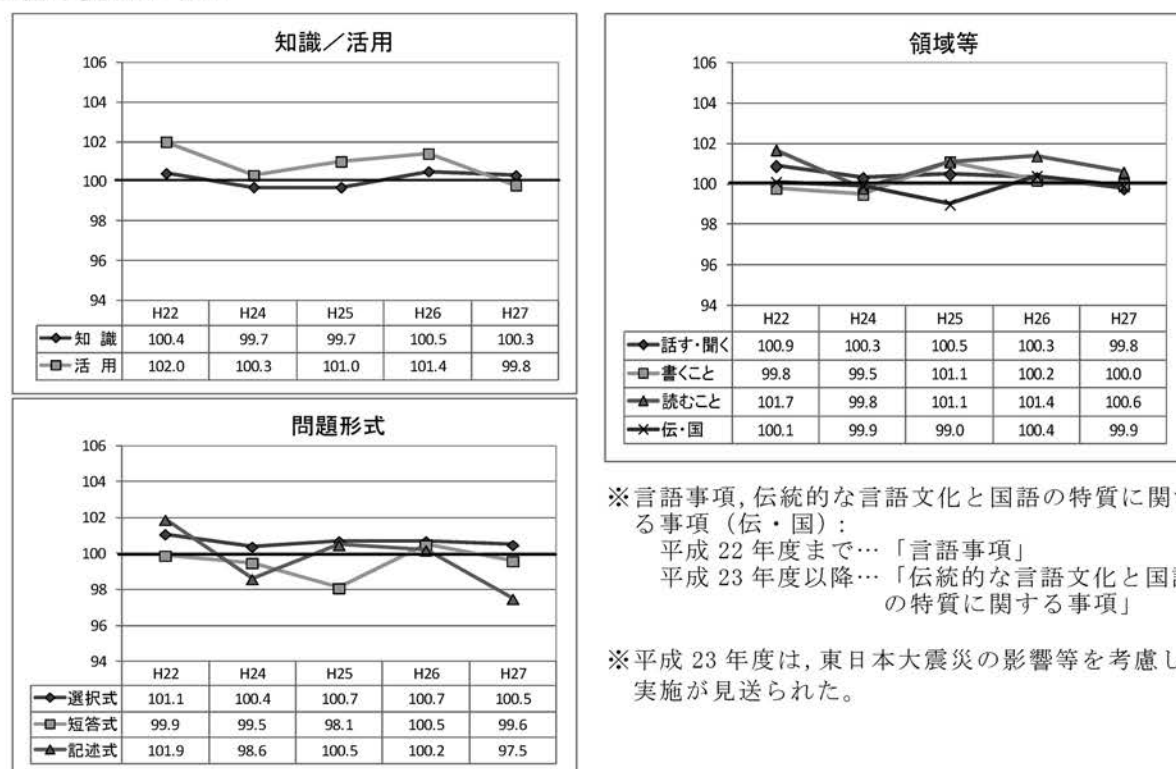
問題形式

全国と同程度であった「記述式」が、今年度は下回り、新たな課題として挙げられる。

○チャートグラフ



○経年変化グラフ



② 各設問及び質問紙調査に見られる結果と特徴

(凡例)

- 「出題の趣旨」
「課題改善」 過去の調査結果からの課題を踏まえた問題
「同一」 過去の調査結果と同一の問題
「領域等」 学習指導要領の領域等
「話」 話すこと・聞くこと 「書」 書くこと 「読」 読むこと
「伝」 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
「評価の観点」
「関」 国語への関心・意欲・態度 「話」 話す・聞く能力
「書」 書く能力 「読」 読む能力
「言」 言語についての知識・理解・技能
「問題形式」
「選」 選択式 「短」 短答式 「記」 記述式
「肯定的回答」
「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」など肯定的な選択肢を選択した割合の合計
「昨年との差」
千葉県の今年度（平成27年度）と昨年度（平成26年度）との差を示す

□ 全国を上回るもの
■ 全国を下回るもの

△：全国との差3.0ポイント以上
▼：全国との差3.0ポイント以下

ア 各設問の結果

問 題	設 問 番 号	設問の概要	出題の趣旨	領 域 等	評 価 の 観 点	問 題 形 式	正答率		無解答率	
							千 葉 県 （ 公 立 ）	全 国 と の 差	千 葉 県 （ 公 立 ）	全 国 と の 差
A	1一	スピーチの途中で聞き手の反応を見て、とった対応として適切なものを選択する	相手の反応を踏まえて話す	話	話	選	93.4	0.4	0.2	0.1
	1二	「成否」という言葉を、聞いて分かりやすい表現に直す	聞き手を意識し、分かりやすい語句を選択して話す	話	話	短	65.2	0.2	14.4	2.4
	2一	意見文に対して出された指摘の理由として適切なものを選択する	意見を支える根拠の明確さについて助言する	書	書	選	79.9	0.1	0.3	0.1
	2二	意見文を直した意図として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、語句の選び方や使い方を工夫して書く	書	書	選	83.6	0.0	0.2	0.0
	3一	用いられている表現の工夫として適切なものを選択する	表現の技法について理解する	伝	言	選	58.3	0.0	0.5	0.1
	3二	一人も返事をしたものがなかった理由として適切なものを選択する	登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する	読	読	選	89.7	1.0	0.2	0.0
	3三	嘉助の言動から読み取れる様子として適切なものを選択する	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する	読	読	選	90.6	0.8	0.4	0.1
	4一	棒グラフの■部の変化の内容を適切に書く	伝えたい事実を明確に書く	書	書	短	68.4	0.8	4.5	0.3

問 題	設 問 番 号	設問の概要	出題の趣旨	領 域 等	評 価 の 観 点	問 題 形 式	正答率			無解答率		
							千 葉 県 (公 立)	全 国 と の 差		千 葉 県 (公 立)	全 国 と の 差	
A	5一	「なぜ、排水管はS字形になっているのか。」という問いに対する答えとして適切なものを選択する	文章から適切な情報を得て、考えをまとめる	課題改善	読	読	選	93.9	0.3	0.3	0.1	
								29.1	0.7	16.8	0.8	
	6一	「あす」と「あした」という言葉の意味の変化を整理した表に当てはまる言葉として適切なものを選択する	目的に応じて要旨を捉える		読	読	選	72.5	1.2	0.3	0.0	
	6二	文章について説明したものとして適切なものを選択する	表現の特徴を捉える		読	読	選	88.4	1.3	0.5	0.1	
	7一	二つの回答案の構成の違いを説明したものとして適切なものを選択する	伝えたい事柄が明確になるように文章の構成を考える		書	書	選	71.9	1.3	0.7	0.0	
	7二	要望を適切に捉え、回答案の冒頭に一文を加える	伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く		書	書	短	66.5	0.1	9.3	0.7	
	8一	インタビューをする際の質問の意図として適切なものを選択する	必要に応じて質問しながら聞き取る	課題改善	話	話	選	85.0	0.4	0.6	0.0	
								64.7	-0.5	0.4	-0.2	
	8二	意図に合った質問として適切なものを選択する			話	話	選	76.2	0.1	0.7	0.0	
	9一1	漢字を書く (<u>ビョウソク</u> 五メートルの風が吹く)	文脈に即して漢字を正しく書く		伝	言	短	87.6	-0.9	2.7	0.5	
	9一2	漢字を書く (地図の <u>シュクシヤク</u> を調べる)			伝	言	短	70.3	-1.8	11.6	1.5	
	9一3	漢字を書く (<u>アマ</u> ったお金を貯金する)			伝	言	短	65.1	-5.8	20.2	4.3	▼
	9二1	漢字を読む (<u>詳細</u> に述べる)	文脈に即して漢字を正しく読む		伝	言	短	80.8	2.6	5.4	0.3	
	9二2	漢字を読む (シャツの <u>袖</u> をまくる)			伝	言	短	94.7	0.6	1.3	0.1	
	9二3	漢字を読む (学校のことが新聞に <u>載</u> る)			伝	言	短	97.3	0.1	1.4	0.1	

問 題	設 問 番 号	設問の概要	出題の趣旨	領 域 等	評 価 の 観 点	問 題 形 式	正答率			無解答率		
							千 葉 県 (公 立)	全 国 と の 差		千 葉 県 (公 立)	全 国 と の 差	
A	9 三 ア	適切な語句を選択する (将来は、 <u>気象</u> 予報士になりたい)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う		伝	言	選	97.5	-0.1	0.6	0.1	
	9 三 イ	適切な語句を選択する (彼がこの討論の <u>口火</u> を切った)		同一	伝	言	選	55.0	-0.5	1.0	0.1	
				(H20)				53.6	-1.1	1.5	0.1	
	9 三 ウ	適切な敬語を選択する (私が先生のお宅に <u>参ります</u>)			伝	言	選	82.8	-1.3	0.8	0.1	
	9 三 エ	適切な語句を選択する (彼女は、学級の <u>縁</u> の下 の力持ちと言える存在だ)			伝	言	選	72.0	1.2	0.9	0.1	
	9 三 オ	適切な語句を選択する (<u>たなびく</u> 雲の間から、春 の光がもれている)		同一	伝	言	選	51.8	2.8	0.8	0.1	
				(H24)				48.3	1.4	0.8	0.0	
	9 三 カ	適切な語句を選択する (新聞を読む <u>習慣</u> を身に付 ける)			伝	言	選	88.2	1.3	1.0	0.1	
	9 四 ①	「青い」と「青さ」の品詞 として適切なものを選択す る	単語の類別について 理解する		伝	言	選	63.0	0.7	1.0	0.1	
	9 四 ②				伝	言	選	33.9	0.2	1.2	0.1	
	9 五	運筆の際の説明に対応する 部分として適切なものを選 択する	毛筆を用いて、楷 書で文字を書く		伝	言	選	86.6	0.7	0.9	0.1	
	9 六	手紙の後付けの直し方とそ の理由として適切なものを 選択する	手紙の書き方を理 解して書く	課題改善	伝	言	選	55.8	-2.4	1.4	0.2	
				(H24小)				24.6	1.1	1.9	-0.2	
	9 七 1	漫画の言葉に対応する部分 として適切なものを古典の 文章の中から選択する	漫画の内容を参考 にして、登場人物 の思いやものの見 方を想像する		伝	言	選	75.0	-0.3	1.6	0.2	
	9 七 2	古典の作品名を漢字で書く	代表的な古典の作 品に関心をもつ		伝	言	短	68.3	1.6	10.8	0.9	

問 題	設 問 番 号	設問の概要	出題の趣旨	領 域 等	評 価 の 観 点	問 題 形 式	正答率			無解答率		
							千 葉 県 (公 立)	全 国 と の 差		千 葉 県 (公 立)	全 国 と の 差	
B	1一	ノートのその他の情報を役立てられる場合として適切なものを選択する	状況に応じて、資料を活用して話す		話	話	選	72.2	-1.0	0.2	0.0	
	1二	フリップを作成する際に取り入れたポイントとして適切なものを選択する	効果的な資料を作成し、活用して話す		話	話	選	87.4	0.1	0.4	0.0	
	1三	演奏するタイミングを選択し、その理由をノートの内容と結び付けて書く	資料の提示の仕方を工夫し、その理由を具体的に書く (H22)	課題改善	話・書	関・話・書 記	55.1	-1.1		2.9	0.1	
							46.4	0.8		9.7	-0.6	
	2一	ウェブページの文章の内容について述べた文の空欄に当てはまる言葉として適切なものを選択する	目的に応じて文章を要約する		読	読	選	83.4	0.8	0.2	-0.1	
	2二	雑誌の記事に書かれていることとして適切なものを選択する	文章の中心的な部分と付加的な部分などを読み分け、要旨を捉える		読	読	選	68.8	1.0	0.3	0.0	
	2三	資料を参考にして2020年の日本の社会を予想し、その社会にどのように関わっていきたいか、自分の考えを書く	複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書く (H24小)	課題改善	書・読	関・書・読 記	20.9	-2.1		3.9	0.2	
							39.9	2.2		15.7	-1.3	
	3一	「お泣きなさるな」という翻訳の効果として適切なものを選択する	表現の工夫について自分の考えをもつ		読	読	選	88.9	0.3	0.6	0.1	
	3二	「あたりは……良かった。」の説明として適切なものを選択する			読	読	選	82.9	0.3	0.8	0.1	
	3三	文章の最後の一文があった方がよいかどうかについて、話の展開を取り上げて自分の考えを書く	文章の構成や展開などを踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書く		書・読	関・書・読 記	31.4	0.3		12.5	1.3	

イ 質問紙調査の結果

質問 番号	国語に関する質問事項	肯定的回答		
		千 葉 県	全国との差	昨年との差
4 4	4 0 0字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	37.0	1.4	3.1
4 5	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	36.0	0.5	3.0
4 6	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	63.1	0.2	0.7
4 8	国語の勉強は好きですか	61.3	0.8	2.3
4 9	国語の勉強は大切だと思いますか	89.4	-0.5	1.3
5 0	国語の授業の内容はよく分かりますか	73.2	-1.1	2.6
5 1	読書は好きですか	72.9	5.0	-1.5
5 2	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	83.4	-0.8	1.5
5 3	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	58.9	-0.3	3.4
5 4	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	53.6	-0.4	4.9
5 5	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	65.8	0.1	5.4
5 6	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	71.2	0.6	2.9
5 7	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか 1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した【肯定的回答】 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあった 3 書く問題は全く解答しなかった	74.5	-1.9	6.0
8 3	調査問題の解答時間は十分でしたか（国語A）	93.9	-0.5	1.3
8 4	調査問題の解答時間は十分でしたか（国語B）	84.4	-1.6	6.6

- 「漢字を正しく書くこと」については、今年度も改善が見られず、出題された3問全てが全国より低かった。特に小学5年で習得する漢字である「余る」は、無解答率が20%を超え、正答率も全国平均を大きく下回った。調査開始以来、正答率が全国平均に達した問題は2問（24問中）であり、継続した課題である。
- A問題、B問題ともに無解答率が高く、全国より低かった設問は1問だけであった。特にA問題の「短答式」の設問や、B問題の「記述式」の設問の無解答率が高い。質問紙では、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した生徒の割合が、全国より低い（57）という結果も見られ、書いて答える設問に対して意欲的に取り組む姿勢を身に付けていくことが求められる。
- A問題、B問題ともに、解答時間が十分であったと回答した生徒の割合が全国より低いという状況が継続している（83、84）。一定の時間内で、ある程度の量の文章を読んだり書いたりできるなど、「量」に対応する力を身に付けていくことが大切である。

③ 成果と課題

全体的な状況	成果	◇ 国語が好き、読書が好きな生徒の割合が、全国より高い状況が続いている。特に読書好きの割合が高く、「読むこと」領域の良い結果も継続している。
	課題	◆ 「漢字を正しく書くこと」が改善されず、継続した課題である。 ◆ 昨年度まで全国と同程度であった「記述式」の正答率が、今年度は全国平均を下回った。特に、複数の資料を意図的に関係付けて記述することに課題が見られる。 ◆ 無解答率が全国より高い設問が多く、課題として挙げられる。特に知識（A問題）は、無解答率が全国より低い設問が1問もなかった。

話すこと 聞くこと	◇ スピーチの中で相手の反応を踏まえて話すこと、インタビューの際に必要なに応じて質問しながら聞き取ることが、全国より高い【A1一、A8一】。 ◆ 発表の際の資料活用に関する問題が、全国より低い【B1一、B1三】。
書くこと	◇ 伝えたい事実を明確にして書くことが、全国より高い。 ・棒グラフを読み取って分かったことを書く【A4一】 ・文章の構成を考えて書く【A7一】 ◆ 複数の資料を関係付けて適切な情報を読み取り、自分の考えを具体的に書く設問が、全国より低い【B2三】。 ◆ 資料の内容と自分の考えを結びつけて具体的に書くことが、全国より低い【B1三】。
読むこと	◇ 昨年度に引き続き、長文を読むことに関する問題が、全国より高い。 ・目的に応じて、要旨を捉える【A6一、B2二】 ・登場人物の心情や言動の意味を考え、内容を理解する【A3二、A3三】 ◇ 表現の分析に関する問題に改善が見られ、4問中3問は全国より高い。 ・表現の特徴を捉える【A6二】 ・表現の工夫について自分の考えをもつ【B3一、B3二】
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	◇ 漢字を正しく読むことは、3問全てが全国より高い【A9二1、2、3】。 ◆ 漢字を正しく書くことに関する課題が改善されず、3問全てが全国より低い。特に、小学校の中学年以降の漢字に課題が見られる【A9一1、2、3】。 ○ × × × × ・「秒速」…秒(3年) 速(3年) ・「縮尺」…縮(6年) 尺(6年) ・余(5年) ◆ 手紙の書き方を理解して書く設問が全国を下回り、小学6年の時の課題の改善が見られない【A9六】。
その他	◆ 複数の資料を関連付けて思考する力を身に付けていく必要がある。 単一の資料を読み取ることはできるが【A4一】、複数の資料（文章・表やグラフも含む）を意図的に関係付けて考え、さらにそれを記述につなげていくこと【B2三、B1三】に課題がある。また、自分の考えを記述する際に、理由や根拠を明確に記述していくことにも課題がある【B3三】。授業では、複数の情報を関係付けて考えたり、活用したりするなど、思考にゆさぶりをかける活動を取り入れていくことが重要である。

④ 授業づくりシート 千葉県版【中学校国語】

本シートは、本県の【中学校国語】に見られる課題の改善を図る授業づくりのための資料として提示しています。各学校においては、これを参考にして、実態に合わせて「授業づくりシート 学校版」（１０８ページ）を作成し、指導改善を進めてください。

ア 教科名	中学校国語		
イ 課題の見られた問題・解答の状況	B 2 三 正 答 率 千葉県 20.9% 全国 23.0% 無解答率 千葉県 3.9% 全国 3.7%		
ウ 出題の趣旨	複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書くことができるかどうかをみる。		
エ 学習指導要領における領域・内容	[第2学年] B 書くこと ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。 [第2学年] C 読むこと オ 多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめること。		
オ 解答類型と反応率	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 【A ウェブページの文章】、【B 日本の人口推移を表したグラフ】、【C 雑誌の記事の一部】の中からいずれか二つを選んで、その記号を塗り潰している。 ② 選んだ二つの資料の内容を適切に取り上げて書いている。 ③ 2020年の日本がどのような社会になっているかを予想して具体的に書いている。 ④ 社会にどのように関わっていききたいかを具体的に書いている。 ⑤ 「二〇二〇年の日本は、」に続けて、八十字以上、百二十字以内で書いている。		
	解答類型		反応率%
	1	条件①, ②, ③, ④, ⑤を満たして解答しているもの	20.9
	2	条件①, ②, ③, ④を満たし、条件⑤を満たさないで解答しているもの	0.2
	3	条件①, ②, ③, ⑤を満たし、条件④を満たさないで解答しているもの	45.4
	4	条件①, ②, ④, ⑤を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの	0.1
	5	条件①, ③, ④, ⑤を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	2.4
	9	上記以外の解答	27.1
	0	無解答	3.9
カ 考察	・複数の資料の情報を関連させて捉えることができていると考えられる。 ・解答類型3は、文章や資料から得られる情報に触れながら、問題意識をもったり新たな発想を得たりするなど、自分の考えと結び付けて考えることに慣れていないと考えられる。特に、科学的な事象や社会的な話題について、自分の立場や関わり方を考えて書くことに慣れていないと考えられる。 ・解答類型5は、様々な様式の情報（特にグラフ等）から読み取った内容を、文章の形で取り上げたり、適切に要約したりすることができていないと考えられる。		
キ 授業づくりのポイント	・社会生活の中の話題を積極的に取り上げ、社会の中での自分の立場や関わり方を具体的に考え、記述する学習を取り入れていく。 ・複数の情報を関係付けて、自分の考えと結び付けて書く学習を、意図的・計画的に設定する。その際、文章以外の資料（図・グラフ等）から読み取ったことを、文章の形で要約する学習を取り入れていくようにする。 ・学校図書館やインターネットなどを利用して、主体的に情報を探す活動を取り入れていく。		
ク 関連する問題	なし		

